

21世紀COE

「京都大学化学連携研究教育拠点」

化学研究所・有機化学セミナー

◆講師◆

Prof. Dr. Matthias Driess (Technical University Berlin)

◆演題◆

“From Metal-Oxo-Clusters to Challenges in Catalysis”

◆日時◆

平成17年11月30日(水) 15:30~17:00

◆場所◆

化学研究所 中会議室(C473)

この度、ベルリン工科大学（ドイツ）のMatthias Driess教授の化学研究所での講演会を標記の通りの要領で開催致します。

Driess教授は、典型元素化学の分野の一線で活躍されている中堅の研究者の一人であり、新規典型元素化合物の合成とその構造・性質の解明や典型元素クラスターの合成とその応用など、幅広く研究を展開されておられます。今回の来日では、筑波大学で開催されますつくば国際有機典型元素化学シンポジウム（12月3日）、ヘテロ原子化学討論会（12月4-6日）におきましても「The Interplay of Electron-Transfer in Diketoamine Complexes of the Main-Group Elements and What One Can Do With Them」および「A Novel Task in Silicon Chemistry: Paramagnetic Silicon-Phosphorus Compounds」という題目で招待講演をされる予定です。そこで化学研究所におきましては、標記のような題目で典型元素クラスターの化学についてのご講演をお願いすることにしました。

皆様には、年末のお忙しい時期かとは思いますが、是非お誘い合わせの上多数の后来聴をお願い致します。

◆連絡先◆

小松 紘一

川端 猛夫

小澤 文幸

時任 宣博(内線3200)